

## 掃除機性能試験 IEC 規格

### IEC(国際電気標準会議)について

IEC は、主に電気工学や電子工学関連の技術の国際規格化・標準化を目指す国際的機関で、その規格は、国際標準規格として、日本を含む世界 150 の国々で採用されています。また、世界各国の掃除機メーカー・科学者・微生物学者・テストの専門家などの意見を取り入れ、掃除機の性能テストでは、唯一の国際規格とされる試験規格も定めています。

日本工業規格(JIS)の制定や、JIS マーク指定等に関する審議・標準化政策の策定をすすめる日本工業標準調査会(JISC)も IEC のメンバーであり、世界の工業の発展のため、国際規格化・標準化の策定をともに推進しています。

### 試験の詳細

掃除機選びに性能試験を参考にするときは、結果だけでなく詳細も調べ、自分の家にある床やゴミに近いもので試験されているかどうかをきちんと確認することが重要です。

ダイソンの試験は、IEC(国際電気標準会議)の国際規格に規定される性能においては、IEC 規格に準じて実施されています(IEC 規格 60312-1 5.1, 5.2, 5.3, 5.9, 等に準拠)。IEC 規格では、吸引力の測定方法、その持続性の測定方法と、ゴミ集じん性能の測定方法などが規定されています。そこでは、試験に使う機器、試験を行う床、使用される試験用のゴミや、その試験手順などが規定されています。

以下には、吸引力の持続性と集じん性能の測定方法を、その対象となる床の種類と使用するゴミを含め、図解とともに説明しています。

床の種類は下記 4 種で、畳については、IEC の国際規定には含まれていませんが、日本の住環境を考慮するため、ダイソンでは畳も試験対象としています。掃除機がどれくらいのゴミを吸うかを確認する、ゴミ集じん率のテストでは、以下の 2 つの時点のゴミ集じん率を計測します。公平かつ正確な結果を得るために、日本の家庭でも見られる物質を含む IEC 規格のゴミを使用し、規定の方法に準拠し試験されています。

①ダストカップが空

②ダストカップが満杯または風量が 60%減の時点（いずれか先に達した時点で計測）

②の状態にする際に規定された DMT Type 8® という試験ゴミを使用します。

### 試験する床の種類



硬い床にある溝

IEC規格 60312-1 5.2および5.9に準拠



硬い床(フローリングなど)

IEC規格 60312-1 5.1および5.9に準拠



カーペット

IEC規格 60312-1 5.3および5.9に準拠



畳

ダイソンでは日本の住環境を考慮し、畳におけるテストを追加。  
テスト方法は、IEC規格 60312-1 5.3および5.9に基づく

## IEC 規格のゴミ

IEC 規格では、公平かつ正確な試験のために、使用するゴミも規定されています。

このゴミは、実際の使用状態(新品ではなく、ある程度使用した状態)にするため、あらかじめ掃除機にゴミを吸わせておく際に、使用されるものです。DMT TYPE 8® は、家庭のゴミを想定して作られた試験ゴミで、日本家庭でも見られる物質も含まれており、細かい砂状物質、細胞物質、綿状物質を混ぜ合わせ構成されています。(イメージ図参照)。

この試験ゴミを使い、吸引力の持続性、実使用環境に近い状況での吸引力を測定します。



詳細はこちら <http://www.iec.ch/>